九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

A Study on the Modernization of Korean Traditional Music in NANTA

李, 敬美
九州大学大学院芸術工学府

https://doi.org/10.15017/19759

出版情報：九州大学, 2010, 博士（芸術工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

第4章　劇としてのナンタ

4.1 ナンタに影響を与えた芸能

4.1.1 韓国の仮面劇タルチュム

ナンタは音楽演奏，演劇，パントマイム，踊り，軽業を含み，物語を持つノンバーバル・パフォーマンスである。ナンタの音楽的な面において創始者であるソン・スンファンはサムルノリに影響を受けていると宣言している。それ以外の伝統音楽の影響については言及していないが，韓国にはタルチュムと言う滑稽を主体にする仮面劇があり，ナンタとの幾つかの共通性を指摘することができる。ナンタと共通点が多くみられるタルチュムの要素をみることでナンタが伝統的要素をどのように用いたのかが分かる。

タルチュムのタルは顔を隠すために紙，木，土などで作られた仮面を意味し，チュムは踊りを意味する。仮面劇に用いられる仮面には 2 種類があり，祭礼や儀式に用いる信仰的仮面と舞踊や演劇の時に用いる芸能的仮面に分類することができる[60]。仮面を表すタルという言葉にはもう一つの意味があり，事故や病気などの原因や障害を表す。その意味からタルチュムは厄払いの役割を果たし，人間の願いや問題を呪術的に解決しようとする祭礼や儀礼が演劇に展開されたと言われている[61]。

民俗芸能に分類されるタルチュムはタルノリやサンデノルムとも言い，地域によって異なる名称を用いることが多い。例えば 1964 年に重要無形文化財第 2 号に指定されたヤンジュビョルサンデノリ（楊州別山臺ノリ　양주별산대놀이）は京畿道のヤンジュ(楊州)市とソウル中心に継承されてきたタルチュムの名称で，ボンサンタルチュム（鳳山タルチュム　봉산탈춤）（図 4-1)は重要無形文化

[60] チェサンス（崔常壽)『韓国仮面の研究』成門閣：ソウル，1984，pp. 26～27 ［原書名：최상수『韓国仮面의研究』성문각：서울，1984，pp. 26～27］

[61] シムウソン(沈雨晟)『タル』デウォンサ：ソウル，1994，pp. 14～34［原書名：심우성『탈』：서울，1994，pp. 14～34］

財の第 17 号に指定されたファンヘド（黄海道 황해도）のボンサン（鳳山 봉산）で継承されたタルチュムである[62]。

タルチュムの起源については諸説があるが，新羅時代に中国から入ってきた器楽舞と合わさり，韓国固有の形式として定着したと言われている。一時期国家で管理されたが 17 世紀頃から一般庶民の演劇に変わり，民俗芸能として全国に広まった。現在の上演形態になったのは 18 世紀から 19 世紀で，李氏朝鮮時代後期には民衆により活発に芸術活動に携わった。

図 4-1 重要無形文化財の第 17 号に指定された鳳山タルチュムはファンヘド（黄海道 황해도）のボンサン（鳳山 봉산）で継承されたタルチュムで仮面をかぶって行われている。ソウルノリマダンで鳳山タルチュムが行われている様子。チェヒウァン『タルチュム』デウォンサ：ソウル，1992，pp.36～37

タルチュムには儀式，音楽演奏，パントマイム，演劇，踊りが含まれている。楽器編成は２つの笛，大笒，奚琴，チャング，ブクであるが場合によってはプンムルに用いられる打楽器が加わることや笛とチャングだけで行われることもある。タルチュムは楽士と呼ばれる楽器演奏者とパフォーマンスを担当する演戯者によって上演される。楽士は伴奏の役割を担当し，演戯者はパントマイム，

[62] イドゥヒョン（李杜鉉）『韓国のタルチュム』一志社：ソウル，1981，pp.35～44［原書名：이두현『韓国의탈춤』일지사：서울，1981，pp.35～44］

演劇，歌，踊りなどのパフォーマンスを担当するが場合によっては楽器演奏も行う。タルチュムには祭礼や儀式も含まれ，豊作を祈る時と豊作を祝うための伝統的祝日に行われる。

タルチュムの出演者の中で楽器演奏者以外は全て仮面をかぶって行われ，一回の上演には 20 種類前後の仮面が用いられる。役割の名前は地域的に異なることもあるが登場人物は共通していることが多い。タルチュムの登場人物には破戒僧，ヤンバン，召使い，老夫婦，商人，浮浪者，女衒，乞食，障害者など李氏朝鮮時代の社会階層を代表する人物が定形化されている。

タルチュムは李氏朝鮮時代が背景で登場人物と物語は実際に起こっている内容を風刺的に表現したものである。タルチュムの一回の公演は物語の内容によって「科場」と呼ばれるシーンに区切られて複数の科場が続けて上演される。タルチュムの物語は周りで起こっている話が多く，定番になっているのは破戒僧に対する風刺，没落したヤンバン（兩班 양반）[63]の現実に対する侮辱，男女関係の対立と葛藤，庶民生活の貧乏な実像など社会風刺的な内容である。タルチュムの登場人物は社会に存在する人物が類型化され，個別的な性格と社会的な性格が一緒に反映されている。

タルチュムは社会風刺的な内容に共通しているが，地域によって科場の構成が異なる場合もある。ここでははは 7 科場に構成されている鳳山タルチュムを一例として取り上げる。鳳山タルチュムの全科場の内容は以下のようになる[64]。

第 1 科場　ササンジャチュム（四上佐舞）：上佐は長老僧の弟子にあたる小僧である。ここでは清浄な存在に表現され，無言の儀式舞で行われる。

第 2 科場　パルモクチュンチュム（八墨僧舞）：墨僧たちは一人ずつ登場しながら踊りや歌を披露し，8 人まで登場していく。八番目の墨僧は，先に退場していた墨僧たちを全員よび寄せ，いい機会にめぐりあったから踊ろと話しかけ全員は修行せず遊ぶ。

[63] ヤンバン（兩班 양반）李氏朝鮮王朝時代の官僚機構・支配機構を担った身分階級のこと。
[64] チェヒウァン『タルチュム』デウォンサ：ソウル，1992，pp. 92～101［原書名：채희완『탈춤』: 서울，1992，pp. 92～101］

第 3 科場　サダンチュム（社堂舞）：社堂は李氏朝鮮時代の歌舞を売る女芸人でそれを再現している。主に民謡を歌うが，ここで歌われる民謡は京畿道,黄海道でよく継承されているもので先唱と後唱とに分かれて歌う。

第 4 科場　ノジャンチュム（老長舞）：女衒が修業している長老僧を誘惑し,破戒僧になる。破戒僧の生活が風刺的に表現される。

第 5 科場　サジャチュム（獅子舞）：獅子遣い役の墨僧が獅子に向かって「ウゥーけものが出たぞ」という叫び声とともに 8 人の墨僧と獅子が現れる。獅子は墨僧に食いつこうとするが墨僧らは驚き，仏の弟子になることを誓う。このあと獅子と墨僧の和解の踊りが演じられる。

第 6 科場　ヤンバンチュム（両班舞）：召使いに連れられて白い面の両班三兄弟がふらふらと登場する。ここでのヤンバンは上流階層に入ろうとお金で地位買ったものである。そういうヤンバン社会の実像を批判，風刺的に披露するのはヤンバンの召使いである。風刺的であるが滑稽な場面が多く，お互い理解し合って科場の最後には全員が仲良く踊る。

第 7 科場　ミヤルチュム（ミヤル舞）：別れてしまったミヤル婆さんと爺さんがお互い探して久しぶりに出会う。しかし若い女性との三角関係でミヤル婆さんは爺さんに殴られ死ぬ。爺さんは妻の急死にいったんは愕然とするが，若い女と踊りながら退場してしまう。最後に巫堂が登場し，ミヤル婆さんのための儀式を行う。ミヤル婆さんの霊が極楽世界にいくことを約束すると,タルチュムは終了する。このあと演戯者全員が現れ,仮面は焼却される。

鳳山タルチュムの上演は楽器演奏を含む儀式から始まり,7 科場にわたる物語によって構成されている。鳳山タルチュムはその脚本と踊り，仮面，衣装および伴奏音楽において，韓国仮面劇の特性をよく帯びており，他の仮面劇に比べ

て宗教的意味は希薄で，民衆の娯楽的要素と写実的な手法が特異だと評価されている。

タルチュムは地域によって細部の内容な異なるが基本的に関係の葛藤と問題を物語にしている。タルチュムの物語の話題は李氏朝鮮時代の階層社会に対する社会風刺的な内容が主になっている。タルチュムでは身分差による問題と人間関係で起こる葛藤が登場人物に具体化されている。タルチュムの科場は内容が独立し，各科場によって主人公や登場人物が変わる。例えば支配階層のヤンバンとヤンバンの召使いの対立，老夫婦を通した男女関係の問題と夫と妻の間にいる若い妾との葛藤や破戒僧の堕落な生活と一般庶民との問題などが主になっている。タルチュムの全ての科場に物語がある訳ではなく，場合によっては儀式，踊り，パントマイム，歌，演劇などの芸能だけで行われる部分もある。

タルチュムの特徴は滑稽と社会風刺で李氏朝鮮時代の庶民の生活が物語の重要要素となっている。タルチュムでは庶民の苦しい現実をコミカルに表現しているため庶民の共感を呼んだ。タルチュムの風刺には支配階層のヤンバンの支配から抜け出して自由になろうとする反抗の意味も込められている。タルチュムに最も多く用いられる物語には階級社会に対する反感，破戒僧の風刺，男女関係や庶民の貧困な生活など社会風刺的な面が多くみられる。タルチュムではこのような社会風刺的な物語を滑稽なセリフやパントマイムで演じ，歌，踊りで表現している。タルチュムの特徴は以下のようにまとめることができる。

(1) 仮面をかぶって行われる。
(2) 物語を持ち，その内容は庶民生活の身近な話が素材になっている。
(3) 物語は風刺的であるが滑稽でコミカルな面が強調されている。
(4) 登場人物がキャラクター化されている。
(5) 楽器演奏，演劇，パントマイム，踊りなど多様な芸能が用いられている。

以上のタルチュムの特徴から(1)仮面をかぶって行われること以外はナンタと共通している。ナンタでみられるタルチュムとの共通点から創始者ソン・ス

ンファンは明言していないがナンタがいかに韓国伝統芸能を取り入れていることが分かる。

4.1.2 ノンバーバル・パフォーマンス

ナンタの創始者であるソン・スンファンは 7 歳に声優から活動を始めた元俳優である。ソン・スンファンは 1985 年から 1988 年までニューヨックに留学し，数多くの公演を見て俳優と公演プロデューサーとしての視野を広げた。

その経験から海外でも通用できる作品を制作するためにに無言劇と韓国伝統文化を融合させる作品を制作することを考えた。留学の経験からセリフがなくても作品の理解ができると判断した彼は韓国の演劇をニューヨックのブロードウェイで上演することを目標にしていた。

1990 年代にはセリフがないノンバーバル・パフォーマンスが既に成功を挙げていたため，無限劇の制作を企画したソン・スンファンはノンバーバル・パフォーマンスを参考いした。ソン・スンファンは既に成功した外国のノンバーバル・パフォーマンスを先行調査し，新しく制作する作品には韓国伝統文化としてサムルノリを融合させることを考えた。ナンタがどのように制作されたついて調べるためにここではソン・スンファンが参考にしたストンプ（Stomp），ブルーマン・グループ（Blue Man Group），タップドッグス（Tap Dogs）の 3 作品について述べる。

ストンプ（Stomp）は 1991 年にイギリスで創始されたノンバーバル・パフォーマンスである。ストンプが制作されたきっかけは 1980 年代初め頃にストンプの総製作のスティーブ・マクニコラスとルーク・クレスウェルがエディンバラ・フェスティバルでストリート・コメディを披露したことである。その時にごみ箱や空き缶を叩いた 3 分ほどのパフォーマンスがストンプの始まりである。その後二人はソロ活動期間を経て，1986 年に再びバンド「Yes/No People」を結成してから他の仲間が加わり，1991 年にストンプとして初演された。ストンプの一回の上演時間は休憩なしで 1 時間 30 分間行われる。演奏にはごみ箱，ぼうき，ドラム缶など身近にあるものを楽器として用いられる。ストンプには特別な物語はなく，町で掃除をしている青年が作り出す音に仲間が加わり，身近にあるものを用いて音楽を作って行く設定で行われる。

ブルーマン・グループ（Blue Man Group）は顔を真っ青に塗った「ブルーマン」が音楽と演劇で行うノンバーバル・パフォーマンスである。「ブルーマン」は主に 3 人の青い顔のキャラクターを示し「ブルーマン・グループ」は劇場型の公演名として用いられている。1987 年最初の 3 人のメンバー（マット・ゴールドマン，フィル・スタントン，クリス・ウィンク）がニューヨークの路上で「ブルーマン・グループ」としてストリート・パフォーマンスを始めたのが結成のきっかけで 1991 年に初演された。ブルーマン・グループの一回の上演時間は休憩なして 1 時間 40 分間行われる。ブルーマン・グループの公演は全くセリフがなく，主にプラスティックチューブを楽器として用いられる。

タップドッグス（Tap Dogs）は 1995 年オーストリアのパフォーマーであり振付家のデイン・ペリーが制作した演劇とタップダンスを融合したノンバーバル・パフォーマンスである。タップドッグスの一回の上演時間は休憩なしで 1 時間 20 分間行われる。タップドッグスには特に物語はなく，工場の労働者の日常を背景にタップダンスを踊る設定で独創的なタップダンスを主に行われる。

ソン・スンファンは海外で通用できる作品の制作のために参考にした 3 つの作品はノンバーバル・パフォーマンスとして共通しているが，それぞれの異なる特徴も見られる。3 の作品にはセリフと物語はなく，音楽演奏は行うが楽器ではない物を楽器として使用している。ストンプは身近にある物を楽器として使用し，ブルーマン・グループは主にチューブを楽器として使用，タップドッグスはタップダンスを主な素材として用いている。ソン・スンファンは海外で既に成功している 3 つの作品を調査し，もっとも韓国的で言葉を使わないものとしてサムルノリを考えたと宣言している。

ソン・スンファンがナンタの制作のために鑑賞調査を行った 3 つのノンバーバル・パフォーマンス作品はセリフを使わないことは共通しているが，各作品は独自性を持っている。まずストッはゴミ箱のような身近なものを用いて音楽演奏をすること，ブルーマン・グループはキャラクター性を持つパフォーマーを少ない人数に制限していること，そしてトップドッグスはダンスと音楽演奏を融合させたことがその特徴である。このような 3 つの作品の特徴はナンタからも見られていることから 3 つのパフォーマンスはナンタ制作に影響を与えていると考えられる。

4.2 劇としてのナンタ

4.2.1 ナンタの筋書き

ナンタを理解するためには劇としての筋書きを知っておく必要がある。ナンタの制作者のソン・スンファンは参考にした 3 つのノンバーバル・パフォーマンスでは見られない特徴をつけるため物語を加えた。それはソン・スンファンが元俳優で留学時代から韓国の演劇をニューヨックのブロードウェイで上演することを目標にして演劇とノンバーバル・パフォーマンスを融合されることを考えたからでもある。

ナンタが制作される前の企画の段階での筋書きは多少抽象的な内容だったが，修正をかけ，現在の「厨房での物語」になった。ステージを厨房にしたことも世界のどこでも身近に感じる話にするための設定だった。よりシンプルなストーリーを作ることで誰でも楽しめるような物語にする事を目標にしたからである。このようにナンタの場合は観客からみて分かり易さを追求していることが分かる。

劇としてのナンタの物語は次のようになっている。登場人物は，3 人の料理人と支配人，支配人の甥の 5 人である。支配人は夕方の 6 時までに結婚式のための料理を完成するように 3 人の料理人（男性 2 人，女性 1 人）に命ずる。6 時間まで結婚式のため料理の準備を 3 人の料理人が働くところに支配人の甥がコネを利用して料理人として加わる。当然，もとの 3 人の料理人と甥との間に，また支配人との間にトラブルが次々と起こってくる。おまけに料理人の中での男女関係のもつれもある。そして，そうした厨房の中でのトラブルは何とか克服され，命じられた時間に料理は完成される。

ナンタの物語としての構造的特徴は未来のある一点に向けて舞台上でのすべての行動が関連づけられることである。未来の一点とはその日の午後 6 時である。その時間までに料理を作り上げなければならないという葛藤があり，その時間までにそれを可能にすることがその葛藤の解決になる。葛藤，すなわち緊張の糸がナンタの物語時間の首尾一貫性を保証する。

その葛藤の下に，幾つかの下位階層の葛藤が用意されている。舞台はあるレストランの厨房で材料の仕込みの最中，支配人は料理人に 6 時間まで結婚式に使う料理を準備するように命ずる。6 時まで問題を解決しないといけないところ，

支配人はまた甥を連れて来て，新米のまま料理人の一員に加える。実力がある料理人たちとコネがあるが実力がない新米の料理人との力関係が発生した状況で料理を続ける。また唯一の女性の料理人との支配人の甥と料理人との三角関係などの葛藤を音楽劇で語って行く。

4.2.2 エピソードを用いた明快な構造

ナンタの時間推移を大まかにあらわすと図 4-2 のようになる。ナンタでは筋書きの進行に合わせた楽器演奏が行われる。

楽器演奏は韓国伝統楽器と厨房道具を用いて行われる。物語の中では料理を命じられてからその完成までいくつかの事件が起こる。創始者のソン・スンファンは物語の中で起きている事件をエピソードと呼び，いていくつかのエピソードを繋げて構成している[65]。厨房で「料理を完成して行く」という流れは変わらないが，エピソードは固定されている部分と既存のエピソードに変化をつけるか順番を変えるなどの修正を行っている（図 4-3）。野菜切りは初演当時から行われてきたが，ニオイを強調するエピソードを加えたのは 2000 年からで既存のエピソードに新しい要素を加えながら変化をつけている（図 4-4）。ナンタは物語と直接関係ないプロローグを含め，24 のエピソードに分けることが出来る[66]。

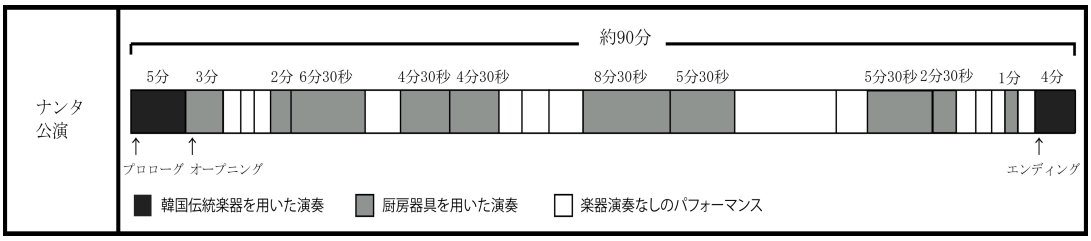

図 4-2　ナンタの時間推移

[65] ソン・スンファン（宋承桓）『世界を乱打した男文化 CEO 宋承桓』ブキアン，2003，pp. 68～81［原書名：송승환 『세계를 난타한 남자 문화 CEO 송승환』북키앙，2003，pp. 68～81］

[66] ナンタのエピソードは 2005 年のイム・ミヒョンの論文による 22 のエピソードを基準にしているが 2008 年 11 月の調査によるとエピソードの順番が変わるなどの変化が見られ，本論文では 24 のエピソードにしている（1997 年調査）。

ナンタの物語によって構成されているエピソードの内容は以下のようである。

(0) プロローグ：伝統衣装を着て伝統楽器を用いて演奏を行う。暗黒の状態でゆっくりしたテンポから段々早くなり，オープニングにつないでいく。
(1) オープニング：静かで暗黒なプフローグからオープニングに移るとパフォーマーはホテルの調理師の服装に衣装を変える同時に厨房器具を用いて演奏を始める。
(2) 支配人登場:オープニングで騒いでいる 3 調理師の前にホテルの支配人が登場し，厨房の様子を検査して退場しながら料理を準備するよう命令する。
(3) 野菜配達：3 人の料理師が笑いながら楽しく野菜を運ぶ。
(4) 料理指示：楽しそうな 3 人の調理師の前に支配人が再び登場し，今日のメニューを紹介する。聞き取ることが難しいほど早いスピードで数多い料理を完成するよう命ずる。
(5) 支配人の甥登場：3 人の調理師と支配人が料理のことで騒く時，支配人の甥が走って登場し，調理師として働き始める。
(6) スープ作り：実際のスープが入っている鍋が登場し，料理師は厨房器具を用いて演奏を始める。
(7) スープ味見：支配人が登場し，スープの味を見ると調理師達と味に対する意見が合わない。
(8) スープの味見（観客）：スープの味の判断のため観客から男性と女性一人ずつ舞台に誘導し，結婚式を演出する。
(9) 料理再開：観客の 2 は席に戻り，直接火を使いながら調理を再会するが甥は問題を起こす。タンスミュージックに合わせてタンスを踊ったりしながら料理を作っていく。
(10) お皿投げ：料理を作りながら料理師の一人が投げたお皿を甥がキャッチすることから段々早いスピードでたくさんのお皿を投げながら厨房を片付けて行く。
(11) アヒルつぶし：厨房が片付けられるところ支配人は生きているアヒルの調理を命令し，料理師はお互い嫌がりながらも料理を完成する。

(12) アカペラ：4 人の調理師はそれぞれ違う野菜を持ち，まな板の上で調理師としての技を見せながらオニオン，キューカンバー，キャベツなどの単語だけで歌を歌う。
(13) まな板:歌が終わった瞬間 4 人の調理師は観客席の近くまで近づき，本格的に演奏を行う。
(14) カンフー：切った野菜が舞台に散らかって掃除を始めるが甥と調理師はお互いゴミを投げながらけんかになり，女性調理師をおいて二人のクンフ対決になる。
(15) 観客と拍手：二人のけんかは女性調理師の登場で終わり，一人の調理師が観客を 2 つのチームに分けて声の大きさでゲームを行う。
(16) マジック：観客とのゲームで疲れた調理師は冷蔵庫からビールを出して飲もうとするが支配人が登場し，ビールを隠すためにマジックを行う。
(17) 餃子作り：餃子作りを始め，拍手ゲームのチームから観客を舞台に誘導し，厨房道具を用いて一緒に演奏しながらゲームを行う。舞台には一瞬観客だけが残されるが，観客席からの応援でゲームが続けられ，支配人が登場して優勝者を決める。
(18) ケーキ作り：餃子が完成され，6 時の時間を意識しながらケーキを作る間，お箸をもって演奏する。演奏が終わって最後のメニューであるケーキが完成される。
(19) 料理チェック：支配人が完成された料理をチェックし，結婚祝いとしてパーティを行う。
(20) パーティ（サンモ）：支配人による「パーティ」の宣言から早いテンポの音楽が流れ，調理師達は踊り始める。
(21) 場面転換（エンディング準備）：正面に今日の新郎と新婦の様子が写真に移される。
(22) サムゴム（三鼓踊）：サムゴムからエンディングまでは演奏が中心となっていて厨房道具を激しく演奏する。
(23) ボール投げ：ナンタのパフォーマーが観客にボールを投げると観客はパフォーマーに返す。一部のパフォーマーはボールを投げながら最後のエンディングに移る。

(24) エンディング　：大きい太鼓や厨房道具を照明とタンスミュージックと激しい演奏が行われる。エンディングが終わる同時にナンタは終わる。

몸으로 보여주는 공연 「난타」.

환퍼포먼스 난타

주방기구들 풍물굿 한마당

칼·도마·국자로 사물놀이 장단
두들기고 들이붓고 '신명' 80분

입소문을 듣고 온 관객들은 공연시작전부터 흥분상태다.

퍼포먼스의 「난타」는 이상하게 시작된다. 무대 양쪽 스크린에 일련의 지시사항이 계속 나오고 관객들은 그대로 따른다. 「박수를 쳐봅시다」 「3열 20번 손님만 쳐보세요」 「밥을 굴려봅시다」 「이 세계」등 구체적인 요구가 계속된다. 게다가 「삐삐는 켜두세요」 「핸드폰도 켜두세요」 「음식물 반입허가」등 주문도 가지가지. 참 별난 공연이다. 관객들은 웃느라 바쁘다.

이 공연에선 4명의 출연자들이 대사없이 1시간20분동안 부엌용품을 두들긴다. 칼 도마 국자등의 주방기구뿐 아니라 장구·북·징·꽹과리가 동원된다. 서양리듬에 사물놀이의 장단을 접목시켜 한국적 신명을 즐겨보자는 의도다.

무대는 주방. 뒷면에는 비행기 프로펠러처럼 거대한 환풍기가 설치돼 있다. 4인조 밴드도 자리했다. 중앙에는 4개의 조리대가 놓이고 무대양옆에는 수도파이프에 걸린 후라이팬, 냉장고, 물통, 가스레인지 등이 촘촘히 배치돼있다. 출연자들은 진짜 칼로 도마위의 야채를 난타한다. 또 주방에 나타난 파리를 잡으려고 온갖 리듬의 박수를 쳐댄다. 계속되는 주방에서의 쇼프닝. 공연중간에 관객들과 함께 「노는」시간도 있다.

끝나기 20분전. 이 공연의 하이라이트다. 천장에 설치된 2개의 원형상자에서 풍뢰기과자와 빙그레에서 협찬한 초코지오가 객석으로 떨어진다. 관객들은 웃느라, 주어먹느라 바쁘다. 또 있다. 출연자들이 아기주먹만한 플래스틱 공을 객석에 마구 던진다. 관객들도 질세라 무대에 공을 던진다. 공연이 하루에 두번있는 주말에는 낮공연의 쓰레기를 치우느라 배우까지 동원되는데, 저녁공연 20분전까지 풍뢰기조각·공 등을 가까스로 치우곤 한다고.

「물건을 두들겨대는 서양식 논버벌(Non verbal) 퍼포먼스는 우리의 풍물굿과 상통한다. 우리의 마당정신을 되찾고 싶어 엄숙한 장소로 인식되는 극장에서 이런 모험을 한다」

구성과 연출을 맡은 전훈(32)의 아이디어가 참신하다. 김문수 한재석 이준우 서추자출연. 26일까지 오후 7시30분, 금 오후 4시30분 7시30분, 토·일 오후 3시 6시 서울 동숭아트센터 동숭홀(02) 3673-4466.　유인화기자

図 4-3　1997 年初演当時のナンタには観客にお菓子を配り，ボールを投げるなどのエピソードがあったが，現在はお菓子を配るエピソードはなくなった。右上の金属を固めるようなエピソードも現在は行われない。記事には噂になったナンタ公演をみに来た観客は見る前から期待している様子だったと書かれ，「包丁とまな板を用いてサムルノリチャンダンを 80 分間」と「厨房器具でプンムルを行う」と大きく報道されている。（京郷新聞 1997 年 11 月 14 日）

2000년 새 버전 철판요리등 냄새 추가

14일~내년 1월23일
서울 정동극장서 '80분 난장'

"두들기는 퍼포먼스에서 맛있는 냄새가 나는 연극으로!"

소리와 음악으로 진행되는 비언어(Non-verbal) 퍼포먼스 '난타'에 향기가 추가된다. 8월 영국 에든버러 페스티벌에서 "무림"이란 제목으로 공연해 호평을 받았던 '난타', 2000년 새 무대에서는 요리 에피소드를 보강해 강력한 웃음 보따리를 풀어놓는다. 14일부터 내년 1월23일까지 서울 중구 정동극장에서 열리는 '난타 2000', 기존 연극에서 결혼식 피로연을 준비하던 요리사들이 번데백을 만드는 과정 정도밖에 보여주지 못했던 것이 아쉬운 듯 이번에는 80분 동안 수타(手打)국수, 철판 요리, 통돼지 요리 등 갖가지 솜씨와 칼재일 쇼도 보여준다.

공연팀의 연습 현장에 가면 류승룡 장석현 서주자 김원해 등 4명의 요리사들이 하루 8개의 값이 하공을 가르고 리드미컬하게 도마에 내려꽂힌다. 특히 열심히 연습하는 부분은 칼재일쇼. 칼과 농도를 맞추기 위해 요리사들은 칼재일 병과 잔을 수없이 주고 받는다. 알고봤을 때 임감을 불어 만들어내는 "불쇼"도 명연습 중.

요리 부분 중 백미는 철판 요리 장면. 당근 양파 오이 양배추 고기 김치를 함께 볶고 철판에 볶자 지글지글 소리와 함께 구수한 냄새가 풍겨나온다. 전통결혼식 장면 재현도 추가됐다. 커플관객을 무대로 끌어올려 즉석에서 시모관대와 족두리 차림으로 결혼식을 올리고 음식을 시식케 할 예정. 연출자인 PMC대표 송승룡씨는 "배고픈 관객은 집을 출발하는 것을 주의해야할 것"이라고 말했다.

97년 초연된 '난타'는 2년간 국내에서 400여회 공연해 180만명의 관객을 끌었다. 뮤지컬 '명성황후'와 함께 매년 수출작업을 거치며 장기공연되는 국내 몇 안되는 레퍼토리다. 또 해외공연계약을 통해 100만달러 수입을 확보해 놓고 있다. 올해 10월 미국 올랜도 디즈니월드 공연을 한데 이어 2000년에는 미국 일본 동남아 순회공연 일정이 잡혀 있다. 동시 다발 공연이 가능하도록 국내 공연단체로는 최초로 '블루' '화이트' '레드' 등 3개의 공연팀을 가동한다.

내년 1월6~23일에는 이 중 '블루'가 일본 아사히(朝日)신문 주최로 도쿄와 오사카 공연을 갖는다. NHK는 최근 '난타'를 특집으로 방송했고, 3일에는 공연팀이 TV아사히의 뉴스쇼에도 출연한다. 편집 7시, 토일 4시 7시, 2만~3만원. 02-773-8960 〈전승훈기자〉 raphy@donga.com

図 4-4　2000 年からの公開されるナンタについて「音劇ナンタ“鼻まで楽しく”」というタイトルで大きく報道された。ナンタの制作者であるソン・スファンはナンタを見に来るときにはお腹すくことを覚悟してきて下さいとインタビューし，厨房と近い環境の演出に努力していることを宣伝した。(東亜日報 1999 年 12 月 2 日)

このようにナンタでは劇の進行に厨房で起きるような素材をエピソードとして用いられ劇の中に配置されている。各エピソードでは厨房内で起きそうな素材で作られ様々な問題が起き，それを解決しながら料理を完成して行くようになっている。

ナンタの 90 分間の公演は 5 人のパフォーマーによって行われる。90 分の間，上演人数が劇のストーリー進行によって 1～5 人で増減されている。それはプンムルとサムルノリとは違うナンタだけの特徴である。ただし，確実に伝統を意識して演奏しているエピソードは 4 人で演奏を行うが，各エピソードによって上演人数は増減される。人数が増減される時やエピソードが次のエピソードに移る時の区切りには現代的なダンス・ミュージックを用いて劇の変化をつけている。このような上演人数の増減や現代的なダンス・ミュージックとプンムルとサムルノリが行われることはない。

サムルノリは最低限 4 人のアンサンブルで公演によっては増やす場合はあるがナンタのように演奏途中に増減されることはない。プンムルは 30 人以上で野外の広場で演奏されることを基本にしているが楽器別に演奏を見せるため人数

が増減されることはあるが演奏場から下がらずお互いの演奏を見ながらかけ声をいれることや踊りながら参加する。ナンタは一つの作品だけが存在し，全ての公演は同じように行われる。そのため，演奏人数や楽器において物語の進行によってエピソードとして決められ，その順番に沿って行われる。

4.2.3 縮小された演奏時間と簡略化されたセリフ

ナンタは上演時間においてもプンムルやサムルノリと異なった形で行われる。プンムルの場合，最短でも 90 分，長い場合は数日にわたって行われる。プンムルはサムルノリとナンタに比べて時間の案配が比較的に自由で踊りや楽器披露の時間が長くなることや短くなることは頻繁に起こる。その結果，上演時間も正確に時間を決めて上演することはあまりなく長くなることも短くなる事も多く見られる。本来的には時間を決めてすることはなかったが最近は１公演として 90 分に合わせて上演する場合もある。サムルノリはプンムルの要素から音楽的な部分を取り出して曲の構成としては 10 分程度の複数の曲のメドレー構成で１公演としての時間は約 90 分である。

１公演として上演時間においてプンムルとサムルノリの違いはサムルノリの場合，曲と曲の区別が明確に分かるがプンムルは曲の区切りはあまり見えなく 90 分間休憩なしで続けて演奏されることが多い。プンムルとサムルノリは音楽や芸能の公演であるため殆どの時間に楽器演奏が行われる。それに比べてナンタは楽器演奏以外の要素である演劇，パントマイム，タンスミュージックとの合奏なども多く含まれている。

ナンタは夕方の６時までに結婚式に使う料理を完成させると言う目的に向かいながら，音楽演奏とダンス，喜劇的コント，観客の舞台参加への誘導，などのエピソードが加えられる。それはナンタがエピソードで起きる葛藤とその解決という明快な構造によって劇の進行における時折の筋書きからの逸脱を許容されたと考えられる。

葛藤とその解決という構造的なわかりやすさは，セリフの省略も可能にする。ナンタのセリフは，料理の指示の時の「今日のメニュー」，時間を確認する時の「６時」，料理をする時の「オニオン」「キャベツ」などの限られた短い言葉だけであり，その本質はノンバーバル・パフォーマンスである。ごく短いセリフで言葉を分からなくても理解出来る程台詞は省略され，外国人が団体で観

覧される場合は英語やその国の言葉で行われる場合もある。またセリフは鑑賞者に合わせて，英語や日本語に変更される場合もある。ステージを現代的ホテルの厨房に設定し，物語をシンプルな筋書きにしたことによって，誰でも見て楽しむことが可能なものとなった。また野菜の名前などの短いセリフにから言葉が分からない観客でも劇を理解し，楽しむことが出きる。

4.2.4 専用劇場で行われるナンタ

ナンタの場合は厨房の設定で包丁や火などを使うため多少危険性があることを考慮し，2000 年からは専門劇場で行うことを基本にしている。専門劇場で行うことで音響・証明や楽器の設置などが安定的に行われると考えられる。また韓国の伝統的なものを用いて設置された専用劇場は伝統音楽を用いて制作したナンタのコンセプトが伝わりやすい。

ナンタの専用劇場は，現在ソウルに江南ナンタ専用館，明洞ナンタ専用館，江北貞洞ナンタ専用館 3 か所と，済州島ナンタ専用館の合計 4 カ所ある（図 4-5，図 4-6）。専用劇場は 300 席の客席を用意し，舞台には厨房がしつらえられ，舞台ソデには韓国において村を守る守護神的存在である韓国伝統のチャンスン（長丞 장승）[67]が設置されている（図 4-7，図 4-8）。

ナンタの場合，プンムルやサムルノリのように複数の上演団体が存在する訳ではなく，上演団体は一つのみでありそこに所属しているパフォーマーがナンタの上演をローテーションとして行っている。そのためサムルノリやプンムルはその団体によって演奏の内容や曲目が変わるが，ナンタの場合は同じ内容の公演が行われる。ナンタのパフォーマーはナンタのだけの専門的な訓練を受けてから舞台に上がることが出来る。このシステムによってナンタ公演は全て同じ内容のパフォーマンスが行われることになる。

[67] チャンスンは長い木や石に人の顔を刻んで立てた造形物である。普通は男性と女性の二つの形が有り，男性は頭に官帽をかぶり，女性は花嫁の姿をしていることが多い。韓国の庶民の素朴な心情がこめられていて，立てられた場所によって機能が少しずつ異なる。最も多く見られるのは村の入り口で村を守る守護神で，病気や災いなどが村に入ってこないように阻む役目を果たす。趙完済『韓国伝統文化事典』教育出版：東京，2006，pp. 333

図 4-5　ナンタが始まる直前のナンタ専用劇場の舞台の様子の厨房器具や楽器がセッティングされている様子。（李敬美撮影 2007 年 11 月）

図 4-6　ナンタ専用劇場の舞台から見た観客席の様子。約 300 席が用意されている。（李敬美撮影 2007 年 11 月）

図 4-7　韓国の庶民の素朴な心情がこめられているチャンスんは村の入り口で村を守る守護神で，病気や災いなどが村に入ってこないように阻む役目を果たす。（李敬美撮影　2007 年 1 月）

図 4-8　ナンタ専用劇場の舞台ソデ設置されているチャンスンの様子。（李敬美撮影　2007 年 11 月）